

# BFSニュースレター

発行者 びとうファイナンシャルサービス株式会社(BFS)

2010年2月1日発行

Vol. 9, 第9号

## このニュースレターの主な掲載情報:

- グローバルな政治・経済、マーケットの最新情報や分析見通し
- BFSのサービス、実際のトピックス、ケーススタディ
- 資産運用や人生設計に役立つ情報
- 知っておくと得するホットな情報

## 複利のマジックを知っておきましょう！！

アインシュタインが「世界で最も強力な力は、複利だ。」といっています。

20世紀最高の物理学者が、だれでも知っていそうな「複利」が最も強力な力というのですから、この力をあらためて見ておくことは、大切なことかもしれません。

そこで100万円を6%で運用して、10年、20年、30年先にどういう状況になっているかを見てみます。

-1年に6%で運用すれば1年後には6万円の利息がもらえ、10年では合計60万円の利息がもらえる-

こう考えるのが一般的ですし、単純でわかりやすいです。この計算の仕方を「単利」といいます。

一方「複利」は、利息の6万円を元本の100万円に上乗せして106万円として運用するやり方です。106万円×6%で、利息は6万3600円。これは2年後の1年間の利息です。そして9年後の1年間の利息は101368円、10年後は107451円です。

ここで、年後の利息は6万円でしたが、9年後の利息は101368円です。なんと利息の金額は、7割も増えています。

どうしてこうなるかといいますと、最初の元本106万円に対して、10年後には元本が約179万円になっていてそれを6%で運用している

からなのです。

こうして20年、30年と複利で運用を続けると、元本が10年後に179万円、20年後に320万円、30年後には574万円となっていきます。

これに対して、利息6万円をそのままにしておくと、10年後は160万円、20年後は220万円、30年後は280万円です。

複利で運用した場合と比べてみてください。30年後には倍以上の開きになっています。そして、増え方も10年で79万円、次の10年から20年の間では141万円、次の20年から30年の間では254万円と、最初の10年の3倍以上の増え方になっています。



これが複利の強力な力です。ここで、大事なことをお伝えしましょう。

早く始めればはじめるほどいいということ、そして、最初の10年がなければあとの10年の恩恵は受けられないということです。

## ウォールストリートジャーナルに日本語版

ついにウォールストリートジャーナルがやりました！！日本語版の創刊です。

ただし紙版ではなく、ウェブでの配信です。

この配信のありがたいところは、無料で購読できるということです。実は有料記事もありますが、6割以上は無料で読めます。主要な記事は十分これで用が足ります。

アドレスは以下のとおりですが、その画面の右上にある無料会員登録をいちど購読してみてくださいらよいでしょう。

<http://jp.wsj.com/>



日本のマスコミは、ライバルの宣伝のようになってしまうので、いまのところ報道していませんが、これは脅威ですね。

アメリカだけでなく、中国や欧州、中東など世界中の記事が充実しています。日本の新聞を読むのとは一味、ふた味違い、かなりグローバルな情報が手に入ります。

それでいながら、日本の情報サイトを読んでいるような錯覚に陥ってしまいます。広告スポンサーは日本企業ですし、なんと1月30日の社説は、「鳩山首相の優柔不断」です。

## 今月の言葉:

打つ心あれば打たるる世の中よ。打たぬ心の打たるるは無し。

二宮金次郎



・BFSのミッションは、お客様とパートナーになり、正しく客観的なプランニングとお客様資産の運用を通じて、お客様を人生のゴール達成に導くことです。

・BFSは、金融機関とは完全に独立して、お客様利益最優先の公正なアドバイスを提供しています。

・BFSは、最新で高度な理論や知識、30年以上のグローバルな豊富な経験、強い倫理観で最高品質のサービスを提供しています。

・資産運用サービスやライフプランニング、BFSについてもっと詳しく知りたい方は、左記までお問合せください。

Web サイトもご覧ください  
<http://www.bfsc.jp>

発行者 びとうファイナンシャルサービス株式会社(BFS)

代表取締役 尾藤 峰男

〒164-0003

東京都中野区東中野4-7-18

岡藤ビル303号

電話 : 03-5338-9733

携帯 : 090-4934-3121

FAX: 03-5338-9734

電子メール : [info@bfsc.jp](mailto:info@bfsc.jp)

お客様の人生に豊かさを、心に安心とゆとりを—BFSの大切な役割

## 日本の物価も株価も、25年前と同じです。

タイトルはあっさりしていますが、意味するところは考えさせるものがあります。

物価水準(2008年)が25年前、1984年の水準とまったく変わらないのです。そして現在デフレ進行中ですから、1984年のときより物価は安くなっていることでしょう。

さかのぼって1980年の物価水準から2008年までの年当りの物価上昇率は、どの程度だと思いますか？正解は、たったの0.19%です。

一方、株価も同じ状況です。こちらは日経平均で見てみましょう。日経平均は1984年に初めて10,000円の大台に乗せました。そして、現在も10,000円そこそこです。

日経平均が1984年時と同じということは、日経平均を構成する225企業の株価の平均が1984年のときと同じということです。

ここで、別の見方から見てみましょう。社員が長年にわたって積み立ててきた従業員持ち株会の存在です。

社員の皆さんは従業員持ち株会に入っている人が大変多いのです。そして毎月積み立ててきていますから、25年前と株価が同じと

いうことは、その間下がっていれば安く買え株数が増えて益が出ていますが、現実にはバブル時の日経平均38900円を含め、大方は株価が高いときに、まるで富士山の左から登り右に降りてきたように、積み立ててきたわけです。

もちろん配当金や会社からの奨励金がありますので、多少はやわらげられていることは確かですが、多くの人が持ち株会の資産は評価損となっていることでしょう。

物価も株価も、ややインフレ気味に高くなっていくのがいいのですが、経済が強くなければインフレにはなりません。



この問題に対する皆さんへの処方箋は、BFSのサービスにかかわる大変重要な使命でもあるのです。